

一般社団法人 徳島県作業療法士会
第 10 回理事会

日 時：平成 29 年 1 月 10 日 19：15～21：00

場 所：ふれあい健康館 第 3 会議室

出席者：理事

岩佐英志、坂東仁志、井上俊子、上田裕久、上原さおり、栗村知治、小森和樹、
松村幸治、吉野哲一、大浦江美子

監事

岡桃子、櫻井宏美

他に召集された者

なし

欠席者：細川友和、河野裕美子

議 長：岩佐英志

書 記：濱敬介

(敬称略)

I. 報告事項

事務局（坂東事務局長）

1. 現在の会員状況について

会員数：546 名 納入率：82.6% 督促等を行っていく。

2. 平成 28 年度作業療法推進活動パイロット事業についての協力依頼について

鳴門市総合事業推進部会（坂東事務局長）

3. 平成 28 年度老人保健推進事業について

21 事例を報告し、すべて受理され研究班が検討している。

日 時：平成 29 年 1 月 15 日：第 1 回会議

平成 29 年 1 月 20 日：第 2 回会議 細川副会長、坂東事務局長が出席予定

本事業におけるマニュアル作成委員に坂東事務局長が協力依頼を受け、2 月 11 日の第 2 会議に出席予定。

4. 鳴門市介護予防事業について

南浜地区に関しては第 1・3 火曜日から毎週実施する予定であるが、鳴門市からは承諾が得られていないため、柔軟に対応できる体制を整えておく。

<岩佐会長より>

実績を理事会にて報告するにあたってデータを集計しておいて下さい。

井上常務理事

5. 四国作業療法学会評議委員会の参加報告について

日 時：平成 29 年 1 月 7 日

場 所：HITO 病院

出席者：細川副会長、角野、加藤、花棚

内 容：

- ・平成 28 年度支部会議の報告について
- ・平成 28 年度四国作業療法学会の報告について
- ・次年度の四国作業療法学会の準備状況について
- ・学会最終日のワークショップと閉会式について
- ・学会予算について
- ・都作連解散に伴う名義変更について

6. 作業療法作品展について

平成 28 年 12 月 24 日で出展締め切りであったが現在も受付中。来週の部会で出展数などを集計し、準備等の案内を行う。

7. 作業療法福祉機器展について

- ・60 分ほど認知症に関するセミナーを実施する予定。準備物等の提出書類に関しては大浦理事が担当。
- ・自助具の紹介について
食器類＝大黒屋、自助具についてもどこからレンタルするのかを検討する。

教育部（小森理事）

8. 現職者共通・選択研修について

- ・現職者共通研修
事例報告、事例検討
日 時：平成 29 年 1 月 26 日 19：00 時～
場 所：ふれあい健康館
演題締め切りは 14 日締め切りで、現在 1 名。
- ・現職者選択研修
老年期障害
日 時：平成 29 年 3 月 19 日
講師と連絡をとり、内容について話し合う予定。

9. 介護予防推進リーダー研修事業について

- ・研修会について
日 時：平成 29 年 1 月 14 日、15 日 参加者：44 名
平成 29 年 2 月 4 日、5 日 参加者：45 名
現在 120 名の修了者がおり、平成 30 年度から地域事業に排出していくことについての話し合いが 12 月末の会議で行われた。平成 30 年度からは 1 回のみ開催予定。鳴門市、神山町、那賀町での介護予防事業に参加しているセラピストは必ず受講する必要がある。平成 30 年度以降の研修会についてどのように実施していくか検討中である。

10. 訪問リハビリテーション実務者研修会の募集案内について（井上常務理事）

日 時：平成 29 年 2 月 26 日

平成 29 年 3 月 5 日

今年度も PT 士会のホームページから申し込むことになっている。申し込みフォーマットが PT 士会の会員用となっているので、備考欄に非会員の場合は詳細事項を記入するよう各施設の会員に伝えてもらいたい。

公益事業部（上田常務理事）

11. 日本作業療法士協会設立 50 周年記念事業について

「協会での災害対策」の講師について変更あり。協会からの返答待ち。記念講演会の案内を事務局から各会員へ発送予定。

12. 平成 27 年度、平成 28 年度の収支報告について

平成 28 年度の下半期に関しては、概算として平成 27 年度の下半期収支を記入し二期比較をしている。概算ではあるが、現状のまま行くと約 20 万円の赤字となる見込み。

学術部（吉野理事）

13. 学会の収支報告について

支出に関しては昨年度とほぼ変わらない。会員の集客を考えるならばアスティ徳島で実施したのは良かったのではないか。今後は参加費をどのように設定するのか、また来年度の予算についても検討していく。

14. 来年度の学会について

- ・学会の日程について、全国学会、四国学会の日程と調整しなければならない。日程調整するにあたって、会場をどこにするかが問題となってくる。10 月下旬から 11 月中を予定している。
- ・学会長については、現在未定。
- ・教育講演として介護予防リーダー推進事業の講義を入れるのはどうか。

15. LINE スタンプ作成について

OT ニャンの LINE スタンプを作成している。今後どのように活用していくか検討する。

岩佐会長

16. 会費について

会費増額については、2 月の理事会で決議をとる予定。

17. 組織体制と定款変更について

- ・士会の構成
会長、副会長、各理事の役割分担を明確にし、理事の役職についても階層性を持たせる。副会長を 2~3 名体制とし、他団体との関係性の円滑化を図る。副会長を専務理事に位置づけし執行権を持たせる。常務理事については全体の運営統括を行い、部会が運営する事業や研修会などのまとめ役を担う。それに伴い組織図の変更案を作成中。
- ・理事の増員について

平成 29 年度から 2～3 名の増員を考えている。分野は問わないが、可能であれば精神・発達分野で検討する。選任については理事会で推薦する。

< 栗村理事 >

理事の増員について選任するにあたって、総会で任命賞を手渡してはどうか。

⇒総会で手渡すのは難しい為、総会の次の理事会で手渡す。

⇒任命賞を手渡している場面の写真撮影を行いホームページでアップする。

財務部（上原理事）

18. マスエージェントへの提出書類について

各理事の印鑑を捺印し提出する予定。

II. 審議事項

1. 介護予防推進リーダー研修事業について

・修了者 120 名を平成 30 年度以降から地域事業に排出することについて

⇒承認

・県士会が開催する研修会を修了していなければ、地域事業に参加できないことについて

⇒承認

2. 四国学会を開催するにあたって県学会を差し替えについて

四国学会を徳島県で開催するにあたり、その年のみ県学会との抱き合わせとして実施することについて

⇒承認

以上を以って議題の審議等を終了し、議長が閉会を宣言し解散した。

この議事録が正確であることを証する為、出席した代表理事及び監事は捺印する。

平成 29 年 2 月 14 日

代表理事：岩佐 英志 ⑩

監 事：岡 桃子 ⑩

櫻井 宏美 ⑩